

朝食、読書で学力アップ？

4月16日（水）

以前新聞に、「読書、毎日朝食で学力アップ」という見出しの記事が掲載されていました。本日から行われてる「全国学力・学習状況調査」の結果と抽出校の保護者 14 万人へのアンケートを分析結果、学力差が以下のような取り組みにより不利を克服できる可能性が示されました。「朝食を食べる」「本を読む」「計画的に勉強する」は、どれも小学校の低学年の時から指導されている基本的な生活習慣です。定時に起床し、しっかりと朝食を食べて、学習に取り掛かったり、運動をしたり、普段の学校生活と変わらない生活を心がけましょう。また、沢山の本も読んでください。本校でも昼休みに図書室も開館して本の貸し出しをしています。以前にもお知らせしましたが、中学3年生の半数以上が、夏休みまでに受験勉強に取り掛かっています。



1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- (2) 教育委員会、学校等が、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。
- (3) 学校が、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。

2 調査を行う学年

小学校 6 年生、中学校 3 年生

3 調査事項

- (1) 教科に関する調査（小学校：国語・算数・理科、中学校：国語・数学・理科）
- (2) 児童生徒質問調査

4 調査日

令和 7 年 4 月 17 日（木）

（理科と児童生徒質問調査については、令和 7 年 4 月 16 日（水）にタブレットにて実施いたします。）

5 その他

悉皆調査となっており、全ての小中学校で本調査に参加いたします。